

平成21年度 第1回西区区民会議・議事録

|              |   |
|--------------|---|
| 開催日時         | 平成21年5月20日(水) 14:00~16:15   |
| 開催場所         | 西区役所1階 指導講座室  |
| 出席者<br>(敬称略) | <p>委員：出席23名(50音順)<br/> 朝日 守、安部 邦昭、新井 一年、荒井 清、有村 小夜子、小野 行俊、<br/> 神田 稔、来栖 芳江、黒岩 清、近藤 勇二、齋藤 美智子、鈴木 隆司、<br/> 関根 蔵之助、田村 恭子、東内 勝美、浪江 美知子、馬場 優加、<br/> 昼間 君子、深谷 隆、松井 盛、茂木 敬子、矢那瀬 春代、吉岡 由和<br/> 区<br/> 吉野区長、矢部副区長、関根区民生活部長、中澤健康福祉部長<br/> 事務局(コミュニティ課)<br/> 大矢参事兼課長、大久保副参事、吉田課長補佐、岡田主事<br/> 運営支援(コンサルタント)<br/> 山口 宣 エコまちづくりフォーラム(株)<br/> 傍聴者 なし</p> |
| 次第           | <p>1 開 会<br/> 2 区民会議委員の紹介<br/> 3 事務局職員の紹介<br/> 4 説明事項等<br/> (1)平成21年度区政方針について<br/> (2)平成21年度のまちづくり予算について<br/> (3)西区区民会議の概要について<br/> (4)第3期区民会議の活動報告について<br/> 5 議 事<br/> (1)役員選出について<br/> (2)第4期区民会議の活動方針について<br/> (3)第4期区民会議の活動計画について<br/> (4)その他<br/> 6 閉 会</p>  |
| 配布資料         | <p>資料1：平成21年度西区まちづくり推進事業予算について<br/> 2：西区区民会議の目的と仕組み<br/> 3：区民会議の位置づけ、目的、進め方<br/> 4：第4期西区区民会議 アンケート結果概要<br/> 5：第4期西区区民会議 部会編成の考え方<br/> 6：第4期区民会議の活動計画<br/> 別 添：さいたま市内公共施設等見学のお知らせ<br/> ：第4期西区区民会議委員名簿<br/> ：平成21年度西区区政方針<br/> ：平成20年度活動報告書(事前配布)<br/> 参 考：ふれあい散歩みちマップ<br/> ：kore kara vol.6(都市局まちづくり広報誌)</p>                               |

## 【会議の概要】

開会に先立ち、区長より各委員へ委嘱状が交付された。

### 1 開 会

- ・区長よりあいさつがあり、続けて副区長、区民生活部長、健康福祉部長より自己紹介が行われた。

### 2 区民会議委員の紹介

- ・各委員の自己紹介が行われた。

### 3 事務局職員の紹介

- ・区職員及びコンサルタントより自己紹介が行われた。

### 4 説明事項等

#### (1) 平成21年度区政方針について

- ・西区の区政方針について、配布資料「西区区政方針」に基づき総務課長より説明があった。

#### (2) 平成21年度のまちづくり予算について

- ・平成21年度のまちづくり推進事業予算について、資料1に基づき総務課長より説明があった。

#### (3) 西区区民会議の概要について

- ・区民会議の目的と主な活動の仕組み、活動体制、第3期の活動経緯、区民会議設置要綱の概要について、資料2に基づき説明があった。
- ・第3期では、活動が部会を軸とした縦割りで、部会間の連携や全委員の交流の機会が少なかったことが反省点として挙げられる。これらを踏まえ、第4期では企画運営委員会（会長、副会長、部会長により構成）を設け、区民会議の企画運営等について協議していただく場とした。また、企画運営委員会の設置に伴い、副会長を3名から2名に変更した。

#### (4) 第3期区民会議の活動報告について

- ・平成20年度の活動報告書ではあるが、第3期区民会議を振り返って、第3期区民会議委員の想い、そして、第4期への課題等として申し述べたいことを「序：より良き区民会議を目指して」としてまとめている。
- ・区民会議は広い意味でのまちづくりにかかわる会として、目的を共有する唯一無二のものであり、今後ともその活動の中味の充実と相まって明確な存在意義を持っている。
- ・第3期の活動内容は、活動の枠を設けずにできるだけ委員や部会の自主性に任せ、行政はそのサポートに回るという姿勢を貫き、委員にとってもやらされ感が少なく、意欲を持って取り組むことができた。
- ・西区の特色として「旧与野や岩槻と異なり、区のネーミングに象徴されるように無機的で、合併後に大宮の冠がとれた今、ピンとくるものが無い。」「市街化調整区

域が73%と多い。」「高齢化比率が高い。」「区の核となる名所などがなく、区外との交流が少ない。」ことなどがあげられ、西区らしさを発揮、追求することが第4期の課題でもある。

- ・ルーチン化された事業の継続については、区民会議が主体となるべきかどうか第3期においても議論されたところであるが、継続の要否は第4期において議論していただきたい。
- ・区民会議は、区役所での奥の院的会合にとどまっているため区民から解りにくい。また、西区は4地区を単位としての文化、色彩が強く独立していることもあり「公民館文化」と言われていることもある。今後は出前区民会議の開催など、地域へ出向いて会議を持つことも必要であるとする。

## 5 議 事

### (1) 役員選出について

決定事項：

- ・会長に黒岩委員、副会長に小野委員及び吉岡委員が選任された。

- ・西区区民会議設置要綱第4条第2項に基づき会長を選任するため、事務局より自薦及び他薦の有無を確認したところ、委員より黒岩委員を推薦する申し出があった。これについて諮ったところ、委員一同の賛同を得て黒岩委員が会長に選任された。
- ・副会長2名の自薦及び他薦の有無を確認したところ、特に申し出がなかったため、事務局案の提示が求められた。事務局より「小野委員及び吉岡委員」が提案され、委員一同の賛同を得て選任された。

### (2) 第4期区民会議の活動方針について

決定事項：

- ・2つの部会構成による活動を基本に進めていくこととした。
- ・部会参加意向などに関するアンケートを実施し、部会構成案を作成する。

#### (基本事項について)

- ・区民会議の位置づけ、目的、進め方について、資料3に基づき説明があった。区民会議の進め方については、第3期までの活動を知っておくこと、第4期の基本的な進め方を決めることが本日の会議で確認する内容であるとの説明があった。
- ・アンケートの結果をとりまとめ、関心がある分野を資料4のとおり分類した。また、区民会議で取り組んでみたいこと、区民会議全般について、主な意見などを紹介した。

#### 【意見・質問】

委 員：これまでの活動における提言などがあれば、具体的に教えて欲しい。

事務局：第2期区民会議では、福祉、子育てをはじめ市政（区政）のあらゆる分野に関する意見が出されたが、実際に各担当課に伝えられるような具体的な

提言としてまとめられるものが少なかったため、第3期ではそれに留意して活動を進めた結果、平成20年度活動報告書にある「西大宮駅駅前広場の整備などに関する提案について」としてまとめられた。具体的には「シンボルツリーの樹種選定、駅前案内板のデザインアドバイス、花壇の設置が実現し、絵タイルベンチの設置を今年度の事業として予定している。

その他、平成20年度活動報告書43ページ以降を参考に説明

委員：全体会が主に部会の結果報告の場になるケースが多かったのが、第3期の反省点であった。個別の内容に入る前に、活動報告書「序」の内容について、具体的に検討された内容を踏まえて、皆様のご意見を伺う機会を設けていただきたい。

議長：活動計画の一項目として、実施する方向で今後検討する。

#### （部会編成の考え方）

- ・今後の具体的な進め方を協議するにあたって、資料5に基づき部会編成の考え方を提示した。関心がある分野を2つのカテゴリーに分け、1つが「生活を守る分野、安心安全なまちづくり」、もう一つが「生活を豊かにする分野、区民の交流促進」とした。
- ・部会構成を2つにした理由は、活動報告書「序」にある、部会数を絞ったのは妥当な編成であったということと、あまり細かく分けると活動の幅が狭められてしまうことが危惧されたためである。大きな2つの枠に分け、まず活動していただき、再編もありうるということで提案した。
- ・第3期に取り組みの少なかった防犯、防災、福祉の分野について、今回のアンケートでは希望が多かったことから、それらが検討できるような部会構成案となった。

#### 【意見・質問】

委員：新人としては、この資料だけで部会を決めるのは難しい。極端なことを言えば、後で部会を変えたいと言っても良いのか。

議長：人数のバランスなどにより、希望どおりにならないこともあり得る。説明があった範囲内で希望を出してもらえれば良いのではないかと。後から変更することも可能とすれば良い。

委員：テーマをハード、ソフトで切り分けるのは難しいのではないかと。3つの部会を作ることは可能か。

事務局：取り組みテーマを狭めず柔軟に考えるためにも、できれば2つの部会でアンケートを実施し、その結果でご協議いただきたい。

委員：次の会議では、基本方針、いわゆるコンセプトをどう掲げるかが、大切なのではないかと。前期からの熱いメッセージをいただいたが、アンケートでどちらの部会に入るか意思表示するとともに、もう一度、区民会議に対するコンセプトをレポートのような形で提出していただいた方が速やかにスタートできるのではないかと。

議長：今の提案も含め検討のうえ、事務局にアンケートの実施をお願いする。

委員：活動報告書によると、第3期では「全委員によるミニワークショップを開催し、区民会議の活動イメージを整理することから始めた」とあるが、今

日の会議はこれに当たるのか。

事務局：第3期は再任委員が少なく、20名の方が新規に委員になられ、区民会議としては、白紙の状態ですとスタートすることとなったため、6月にミニワークショップを行い検討を始めた。第4期は再任委員が多いこともあり、ワークショップは実施せず、次回の会議で意見を伺いながら進めたいと考えている。

### (3) 第4期区民会議の活動計画について

決定事項：

- ・会議の年間スケジュールは基本的に事務局案のとおりとする。
- ・第2回全体会終了後に検討会議を開催し、活動報告書「序」等に対する意見交換、継続事業に対する検討、活動方針等の検討を行う。

- ・第4期の活動計画案、年間予定表等について、資料6に基づき説明があった。
- ・全体会は年6回の開催を予定しており、事前アンケートの回答も踏まえて、平日の午後で組ませていただいた。また、部会の開催については各々協議調整することとしている。
- ・さいたま市をもっと知っていただき、地域を再確認していただくことを目的に、さいたま市内公共施設等の見学を企画した。

#### 【意見・質問】

- 委員：仕事を持っている者としては、15時の開始だと参加しやすいが、調整は可能か。
- 委員：北区は夜に開催している。いくつかのバリエーションがあるといいのだが。
- 議長：全体会后に引き続き部会を開催することを考えると、閉会が遅くなるが、みなさんの考えはいかがか。
- 委員：今期は全体会でも様々な検討の時間を確保したいから、できれば早めに開会したいと考える。
- 議長：では、まずは14時開会で進めていきたいと思うので、ご了承願いたい。
- 一同：了承。
- 委員：ルーチン化された事業をどうするか、出前区民会議等をいつから始めるのか、事業に対する助成金などの仕組みについて行政としてどのように考えているのか。次の会議で議論ができれば良いと思うがいかがか。
- 議長：「活動方針の検討」のひとつとして、協議してもらえれば良いのではないか。
- 委員：継続事業について、第3期では部会レベルで検討したが、本来は全体会で検討する必要があるのではないか。
- 事務局：事務局案としては、早く部会を設置し年間計画を立てていただきたいと考えていたが、ご意見を尊重して、先に全体で年間計画を検討していただくことで問題ないと思う。また、ウォークラリーについては、「駅からハイキング」に移行することも含めて、現在JRと協議中である。
- 議長：実施主体は西区なのか。それとも区民会議が引き続き関わっていくことになるのか。

事務局：それも含めて協議していただきたい。

(4) その他

- ・西区区民会議に対してさいたま市国民健康保険運営協議会から委員の推薦依頼があるため、協力いただきたい。
- ・当会議の議事録については、会議後に各委員に送付し、申し出により修正等を行い次回会議において確認する手順とすること、また発言者については匿名とすることとしたい。
- ・当会議は無報酬であるが、交通費相当額を年度末に支給する。また、活動中の事故に備えて傷害保険に加入している。

## 6 閉 会

以 上